

目 次

第1章 ビジョンの策定にあたって	1
1. ビジョン策定の背景と趣旨	1
2. 基本理念	1
3. 大人の責務と育みたい子どもの姿	1
4. ビジョンの位置づけ	3
5. ビジョンの策定体制	4
(1) アンケート調査の実施	4
(2) 郡山市子ども・子育て会議による審議	4
(3) パブリックコメントの実施	4
第2章 保育・幼児教育の現状及び課題	5
1. 保育・幼児教育を取り巻く全国的な動向	5
(1) 人口減少と少子高齢社会	5
(2) 女性の出産・子育て期の就業率の上昇	5
(3) 子ども・子育て支援新制度及び幼児教育・保育の無償化	5
(4) 特別な配慮を必要とする児童の増加	6
(5) 保育者の不足	6
2. 郡山市の現状及び課題	7
(1) 多様な保育・幼児教育ニーズへの対応	7
(2) 特別な支援を要する児童や保護者への対応	9
(3) 保育人材の確保と保育者の負担軽減	10
(4) 保育者の資質の維持・向上	12
(5) 待機児童ゼロの継続	13
(6) 公立保育所の老朽化への対応と今後のあり方の検討	14
(7) 将来的な保育・幼児教育需要の減少を見据えた施設の配置	16
(8) 子育て支援体制の充実	18
(9) 感染症や災害への対応	19
第3章 ビジョンの基本的な視点	20
1. 子どもの最善の利益を尊重する視点	20
2. バックキャストの視点	20
3. SDGs の視点.....	20
4. セーフコミュニティの視点	21
5. こおりやま広域連携中枢都市圏の視点	22

第4章 基本方針と取組みの方向性	23
基本方針1 保育・幼児教育の質の向上に必要な基盤を整えます	23
1. 保育者の就労環境改善	23
2. 保育士・保育所支援センターの機能強化	24
3. 研修機会の確保	24
4. 市内の施設や保育者のネットワーク構築	25
5. バックキャストの視点による就学に向けた支援	25
基本方針2 多様な保育・幼児教育ニーズへ対応していきます	26
1. 特別な支援の必要な児童・保護者への支援	26
2. 医療的ケア児への支援	26
3. 病児保育事業の拡充	27
4. 延長保育事業の拡充・休日保育の検討	27
5. 保育施設等の広域利用の検討	27
基本方針3 施設の適正配置に取り組みます	28
1. 公立保育所の機能強化	28
2. 必要な保育・幼児教育の確保	29
3. 少子化の進行に応じた公立保育所の適正配置	30
基本方針4 非常時（災害・コロナ感染症等）に強い体制をつくります	32
1. 非常時の協力体制の構築	32
2. 災害対応にかかわる計画策定の支援	32
3. 施設の危機管理体制の強化	32
4. ニューノーマルへの対応支援	33
資料編	34
1. 郡山市子ども条例（平成30年郡山市条例第19号）	34
2. 保育・幼児教育の状況	36
3. 郡山市の人口	43
4. アンケート調査結果の概要	48
(1) 施設アンケート	48
(2) 保育者アンケート	57
(3) 保護者アンケート	64
5. 郡山市子ども・子育て会議	68